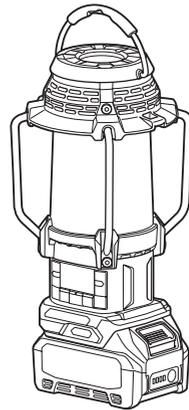


Makita

取扱説明書

充電式 ランタン付ラジオ モデル MR008G



このたびは充電式ランタン付ラジオをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	5
・ 充電式ランタン付ラジオ安全上のご注意	11
・ 各部の名称および標準付属品	13
・ 全体	13
・ LCD 画面表示	14
・ 別販売品のご紹介	15
・ バッテリー（別販売品）について	16
・ 使い方	19
・ ラジオ放送を聞く	19
・ LED ランタン／フラッシュライトを使用する	22
・ USB 電源ポートから USB 機器に充電する	24
・ フック付ストラップを取り付ける	26
・ 保護機能	27
・ 本製品およびバッテリーの保護機能	27
・ 故障かな？と思ったら	28
・ 保守・点検について	29
・ 本製品のお手入れ	29
・ ご修理の際は	29

主要機能

主要機能		モデル	MR008G
共通	使用可能バッテリー (別販売品)	対応バッテリーの詳細は「別販売品のご紹介」 を参照ください。	
	電圧	直流 36 V (40 V max) ※ 1	
	本製品寸法※ 2	キャリーハンドルを起こしたとき： 長さ 126 mm × 幅 166 mm × 高さ 356 mm キャリーハンドルを倒したとき： 長さ 126 mm × 幅 166 mm × 高さ 315 mm	
	質量※ 3	0.99 kg	
ラジオ	周波数帯域	FM : 76 ~ 108 MHz AM : 522 ~ 1,710 kHz	
	アンテナ	FM : FM アンテナ兼用ランタンレンズガード AM : 内蔵バーアンテナ	
	スピーカー	57 mm	
	実用最大出力	3 W	
USB 電源端子	出力電圧	DC 5 V	
	出力電流	2.4 A	
	形 状	Type A	
ランタン		LED 昼白色 20 灯、暖色 20 灯	
フラッシュライト		LED 昼白色 1 灯	

※ 1 : 40 V max は満充電時のバッテリー電圧を表しています。

※ 2 : BL4050F 装着時

※ 3 : バッテリー非装着時

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

推奨バッテリーアダプタ類

PDC01、PDC1200

- ・ 詳細は各バッテリーアダプタ類の取扱説明書をご参照ください。

主要機能

一充電当たりの連続点灯時間※ 1

バッテリーの種類	使用時間※ 2			
	FM ラジオ	FM ラジオ+ランタン※ 3	ランタン※ 3	フラッシュライト※ 4
BL4025	約 28 時間	約 10 時間	約 16 時間	約 31 時間
BL4040	約 41 時間	約 15 時間	約 24 時間	約 46 時間
BL4050F	約 58 時間	約 21 時間	約 34 時間	約 66 時間

※ 1：連続点灯時間は参考値です。

バッテリーの充電状態、使用環境により異なります。

※ 2：ラジオは JEITA 基準

電子情報技術産業協会基準（スピーカー出力：100 mW 時）

※ 3：ランタン点灯方法：全灯、明るさ：High の場合

※ 4：フラッシュライト点灯方法：点灯、明るさ：High の場合

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

⚠ 警告

使用環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 充電式製品から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、充電式製品や充電器のコードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 充電器の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグを改造したり、電源プラグをアダプタプラグなどで接続しないでください。また、接地付きプラグは確実にアースをしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 充電式製品、バッテリーおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
 - ・ 充電式製品や充電器内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡（ショート）する恐れがあります。
 - ・ バッテリー内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
3. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
4. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
5. USB 電源端子付き製品の場合、USB 電源部の端子間を短絡（ショート）させないでください。
 - ・ 釘、針金が USB 電源端子部に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 警告

充電式製品の使用と手入れ

1. スイッチ付き製品の場合、スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない充電式製品は危険です。使用せず修理をお申し付けください。
2. 充電式製品の誤始動を防ぐために、使用後はスイッチを切り、バッテリーを本製品から抜いてください。
3. 使用しない充電式製品は、子供の手の届かない乾燥した鍵がかかる場所に保管してください。
 - ・ 充電式製品や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
 - ・ 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
 - ・ バッテリーはバッテリーカバーをつけて保管してください。
4. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

バッテリーに関する安全事項

1. バッテリーを差し込む際に、スイッチが入らないようにご注意ください。
 - ・ 意図しない起動は事故につながります。
2. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - ・ 本製品の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリーの端子部を金属などに接触させないでください。
 - ・ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・ 本製品または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください（バッテリー付きの場合）。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - ・ 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・ バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
 - ・ 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・ 発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリーに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. 分解・改造をしないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
10. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

⚠ 警告

11. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・ バッテリーを周囲温度が 50 °C 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
12. バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリーの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
 - ・ バッテリー内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
13. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
 - ・ 損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。
14. 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
15. バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
 - ・ 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
 - ・ 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。
16. 使用中、使用後にバッテリーが熱くなることがあります。やけど、低温やけどの原因になるため注意してください。
 - ・ 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているためやけどの恐れがあります。
17. バッテリーに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。
 - ・ 異常発熱によりやけどしたり、発火、破裂または、作動不良によりけがに至る恐れがあります。
18. バッテリーを使用する前に、充電器、バッテリー、バッテリーを使用する製品に関するすべての取扱説明と注意表示をお読みください。
19. バッテリーは子供の手が届かない場所に保管してください。

整備

1. 充電式製品は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - ・ 本製品、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・ 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - ・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 - ・ アスベスト（石綿）周辺的环境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

⚠ 警告

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- ・ 破損した部品の交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - ・ 電源コードに深いキズや変形がある。
 - ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - ・ 焦げくさい臭いがする。
 - ・ ビリビリと電気を感じる。
- ・ スイッチを入れても機能しないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

3. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。

- ・ 爆発や火災の恐れがあります。

4. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。

- ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
- ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを挿し込まないでください。
- ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

5. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。

- ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

6. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。

7. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。

- ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

⚠ 警告

8. 正しく充電してください。

- ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
- ・ 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ・ ラベルに「発電機」の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ・ 周囲温度が 10 °C 未満、または周囲温度が 40 °C 以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・ バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリーや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・ 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
- ・ 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

9. ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

- ・ 感電の恐れがあります。

10. 充電製品を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。

- ・ 誤動作や故障する恐れがあります。

11. 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

- ・ 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

先に充電製品として共通の注意事項を述べましたが、充電式ランタン付ラジオとして、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. ライトを直接のぞき込んだり、目に当てないでください。
 - ・ ライトの光が連続して目に当たると目を傷める原因になります。
2. 点灯したまま、布やダンボールなどをかぶせないでください。
 - ・ 発火の恐れがあります。
3. ライトヘッド内をピンセットなどの金属でさわらないでください。
 - ・ 短絡して発煙、発火、破裂の恐れがあります。
4. 点灯中や使用直後はライト照射部が高温になることがありますので触れないようにしてください。
5. ラジオは音量を上げすぎないようにご注意ください。
 - ・ 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
6. LCD画面が破損し、液晶（液体）が漏れたときは、液晶を吸い込んだり、飲んだりすると、中毒を起こす原因になります。万一口に入ってしまったら、目に入ってしまった場合は、水でゆすいでいただき、医師の診断を受けてください。
7. USBプラグを抜くために、USBコードを引っ張らないでください。
 - ・ 本製品が落下して体に当たり、けがをする恐れがあります。
8. 本製品は防水構造ではありません。
 - ・ 水洗いしたり、雨中や湿気の多い所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
9. 本製品に落下などの強い衝撃を与えないでください。転倒または落下防止のため、水平で起伏のない場所に置くか、安定のよい所に固定して使用してください。
10. 本製品を使用しない場合は、スイッチを切り、バッテリーを抜いてください。
11. ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブなど発熱、または発熱を増幅する機器などの近くに本製品を置かないでください。
 - ・ 発火の恐れがあります。
12. 本製品は、火または高温の環境にさらさないでください。
 - ・ 火気や 130℃以上の周囲温度により破裂することがあります。
13. 本製品は、身体的や知覚的疾患または精神的な疾患のある人、経験や知識が不足している人による使用を想定していません。そのような方が使用する場合には、必ず製品の正しい知識を持ち、使用者の安全を守ることができる責任者が立ち会ってください。
14. 本製品をお子様にご使用させないでください。
 - ・ けがなどをする恐れがあります。

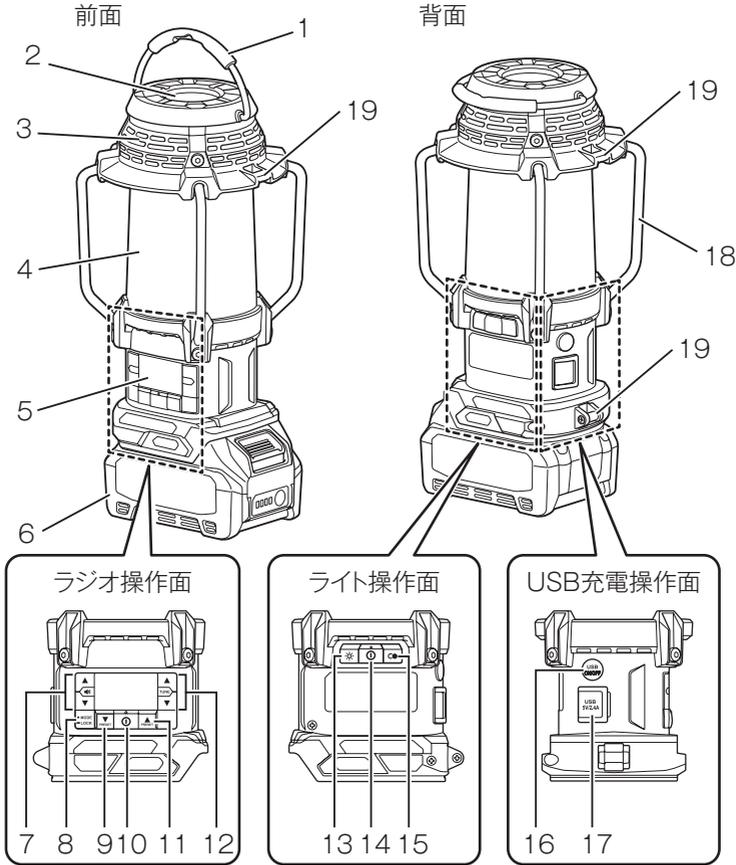
警告

15.本製品を持ち運ぶときは、キャリーハンドルを握るなど、落とさないようにしっかり保持してください。

- 本製品を落とし、体に当たり、けがをする恐れがあります。

各部の名称および標準付属品

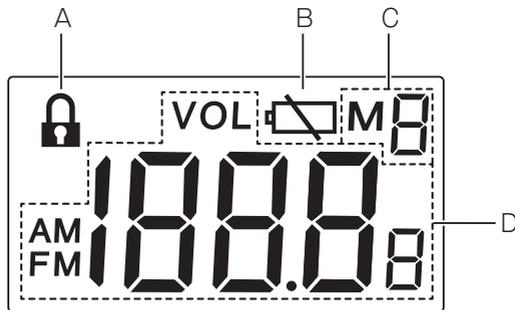
全体



- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 1. キャリーハンドル | 10. ラジオの電源ボタン |
| 2. フラッシュライト | 11. プリセット (UP) ボタン |
| 3. スピーカー | 12. ラジオ局選局ボタン |
| 4. ランタン | 13. ライト輝度ボタン |
| 5. LCD 画面表示
(14 ページ参照) | 14. ライト ON / OFF / モードボタン |
| 6. バッテリー (別販売品) | 15. ライト色調整ボタン |
| 7. 音量ボタン | 16. USB 用スイッチ |
| 8. モード/ロックボタン | 17. USB 電源ポート |
| 9. プリセット (DOWN) ボタン | 18. FM アンテナ兼用ランタンレンズガード |
| | 19. ストラップ用のバックル |

各部の名称および標準付属品

LCD 画面表示



- A. ロックボタンオン表示
ボタンロック状態の時に表示されます (21 ページ参照)。
- B. バッテリー残容量表示
バッテリー残容量が少なくなると点灯します (27 ページ参照)。
- C. プリセットナンバー表示
登録したラジオ局のプリセット番号が表示されます (20 ページ参照)。
- D. ラジオバンド (FM/AM) / 周波数表示 / 音量表示
以下のように表示が切り替わります。

AM 選局時の例



FM 選局時の例



音量設定時の例



標準付属品

- ・ フック付ストラップ

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ バッテリーおよび充電器

品目	品名	部品番号
使用可能バッテリー (容量)	◎ BL4025 (2.5 Ah)	A-69923
	◎ BL4040 (4.0 Ah)	A-69939
	◎ BL4040F (4.0 Ah)	A-73841
	◎ BL4050F (5.0 Ah)	A-72372
対応充電器	DC40RA (急速充電器)	JPADC40RA
	DC40RB (2口急速充電器)	JPADC40RB
	DC40WA (2口充電器)	JPADC40WA

◎：使用推奨バッテリー

- ・ ADP10 充電器用互換アダプタ
部品番号：A-69967
※充電器 DC40RA または DC40RB に取り付けることでマキタ 14.4 V/18 V バッテリーの充電が可能になるアダプタです。

バッテリー（別販売品）について

バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。
- ・ 使用しないときは本製品または充電器からバッテリーを抜いて保管してください。

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

バッテリー（別販売品）について

バッテリーの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

バッテリーは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

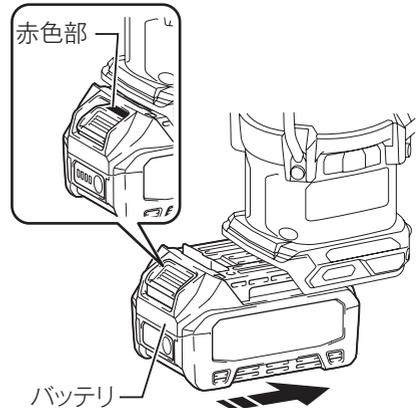
- ・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

バッテリーを着脱するときは、バッテリーを落下させないように注意してください。

- ・ けがの原因になります。

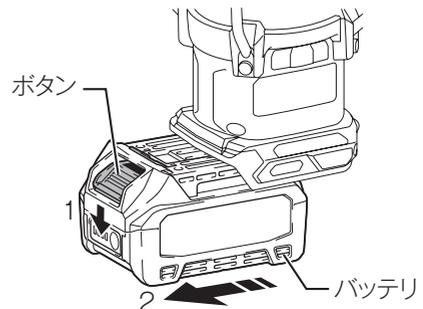
取り付け方

- ・ バッテリーを本製品の溝に合わせ、赤色部が見えなくなるまで差し込みます。
- ・ 右図のバッテリーはBL4025です。赤色部はバッテリーによって異なります。



取りはずし方

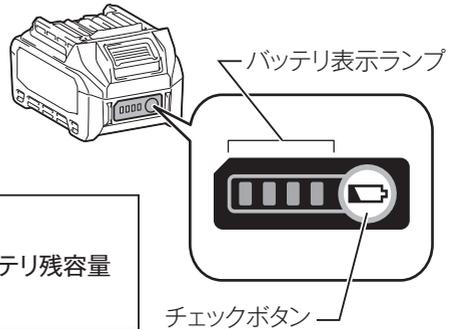
- ・ バッテリーのボタンを
 1. 矢印方向に押しながら
 2. 引き出します。



バッテリー（別販売品）について

バッテリー残容量表示機能

- ・ チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を数秒間表示します。



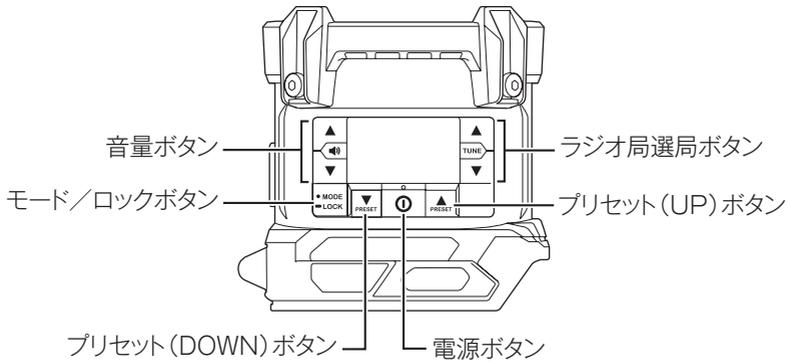
バッテリー表示ランプ	バッテリー残容量
	75 % - 100 %
	50 % - 75 %
	25 % - 50 %
	0 % - 25 %
	充電してください。
	バッテリーの異常です。

注

- ・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。
- ・ バッテリー保護機能が働いた際は、左端のバッテリー表示ランプが点滅します。

使い方

ラジオ放送を聞く



1. 電源ボタン () を押してラジオの電源を入れます。
2. モード/ロックボタン () を押して、ラジオバンド (FM または AM) を選択します。
3. ラジオ局を選局します。
 - ・ 選局方法は、以下の「ラジオ局を自動選局する」「ラジオ局を手動選局する」「放送局を登録して聞く (プリセット選局)」を参照ください。
4. 音量ボタン () の▲または▼で音量を調整します。
5. ラジオを消すときは、電源ボタン () を押します。

ラジオ局を自動選局する

1. ラジオバンド (FM または AM) を選択します。
2. ラジオ局選局ボタン () の▲または▼を長押しすると、周波数の数字が変わり選局がはじまります。電波の強い放送局だけを選んで自動的に受信します。
 - ・ 次の放送局を選局したいときは、同様の操作を繰り返します。
3. 必要に応じて、ラジオ局選局ボタン () の▲または▼を押して周波数を微調整します。
ラジオ局選局ボタン () を一回押すごとに、次の周波数刻みで変化します。
FM : 50 kHz (0.05 MHz)
AM : 9 kHz

注

- ・ 受信状態が悪い場合は、受信しやすい場所にラジオを移動してください。

使い方

ラジオ局を手動選局する

1. ラジオバンド（FM または AM）を選択します。
2. ラジオ局選局ボタン（ または ）を押して、希望する放送局を選択します。
ラジオ局選局ボタン（ または ）を一回押すごとに、次の周波数刻みで変化します。
FM：50 kHz（0.05 MHz）
AM：9 kHz

注

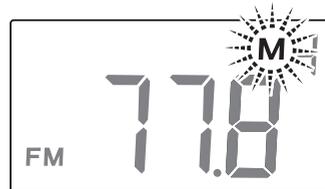
- ・ 受信状態が悪い場合は、受信しやすい場所にラジオを移動してください。

放送局を登録して聞く（プリセット選局）

- ・ AM 放送、FM 放送はそれぞれ 9 局まで登録できます。
- ・ AM 放送、FM 放送ともに、使用方法は同じです。

登録する

1. ラジオバンド（FM または AM）を選択し、登録したい放送局を選局します（「ラジオ局を自動選局する」、「ラジオ局を手動選局する」参照）。
2. プリセット（UP）（）またはプリセット（DOWN）（）ボタンを長押しします。
 - ・ 画面に「M」が点滅します。



3. プリセット（UP）（）またはプリセット（DOWN）（）ボタンを押して、登録先としてプリセット番号を選びます。



使い方

- プリセット (UP) () またはプリセット (DOWN) () ボタンを長押しします。
 - 現在の放送局が、選択したプリセット番号に登録され、「M」の点滅が点灯に変わります。



- 他のプリセット番号にも登録したい場合は、同様の操作を行います。
 - すでに登録されているプリセット番号に別の放送局を登録し直したい場合は、上記の手順で上書きすることができます。

登録した放送局を呼び出す

- ラジオバンド (FM または AM) を選択します (19 ページの「ラジオ放送を聞く」参照)。
- プリセット (UP) () またはプリセット (DOWN) () ボタンを押して、プリセット番号を選択します。

ボタンロック機能

- ボタンロック機能により、ライトの操作時に、意図せずラジオが動作してしまうことを防止することができます。
- モード／ロックボタン () を長押しします。LCD 画面には、  が表示されます。

以下のボタンのみが有効になります。その他のボタン、スイッチはすべて無効になります。

有効なボタン

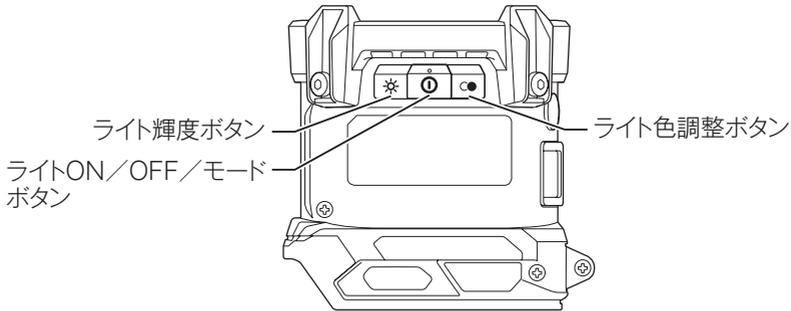
 - ラジオ操作面：電源 ON/OFF ボタン ()
 - ライト操作面：ライト ON / OFF / モードボタン ()
 - ボタンロック機能を解除するには、ロック中にモード／ロックボタン () を長押しします。

ロックが解除され、LCD 画面から  が消えます。

 - 電源ボタン () は、ボタンロック機能でロックされません。電源ボタン () を押すと電源が切れ、再度電源を入れると、ボタンロックは解除された状態になります。

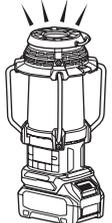
使い方

LED ランタン／フラッシュライトを使用する



ライトの種類・点灯パターン

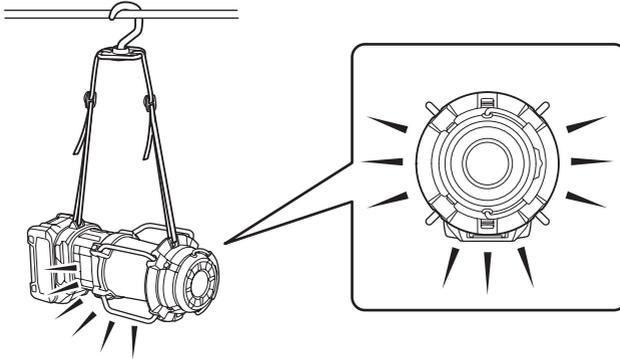
- ・ ライトの種類、点灯方法、明るさ、色は、以下の設定・組み合わせができます。

ライトの種類	点灯方法	明るさ	色
 ランタン	全灯	High	昼白色 中間色
	3/4 点灯※	Low	暖色
 フラッシュライト	点灯	High	切り替えなし
	点滅	Low	

使い方

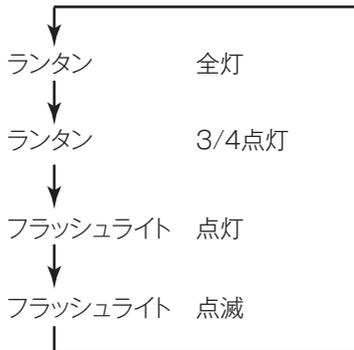
※ 3/4 点灯について

ランタンの 3/4 点灯時は、図のように 3 方向にライトが点灯し、残りの 1 方向が消灯します。図のようにフック付ストラップを取り付けると、吊り下げランプとして使用することができます（フック付ストラップの取り付け方は、26 ページ参照）。



操作方法

1. ライト ON / OFF / モードボタン () を押すと、ランタンまたはフラッシュライトが点灯します。
 - ・ 前回消灯したときに選択していたライトの種類・点灯方法・明るさ・色で点灯します。
 - ・ 点灯時は、フラッシュライト（点滅）以外は、はじめは暗めに点灯し、徐々に設定した明るさになります。
2. ライト ON / OFF / モードボタン () を押すたびに、ライトの種類、点灯方法が、以下の順に切り替わります。



使い方

3. ライト輝度ボタン (※) を押して、お望みの明るさに切り替えます。
 - ・ 明るさは、ランタンとフラッシュライトともに、High または Low の 2 段階です。
4. ランタンの場合は、ライト色調整ボタン (●●) を押して、ライトの色を選択します。
 - ・ 昼白色、中間色、暖色の 3 色から選択できます。
5. ライト ON / OFF / モードボタン (ⓘ) を長押しするとライトが消灯します。

USB 電源ポートから USB 機器に充電する

⚠ 注意

USB 電源ポートには、DC 5V、2.4 A 電源に対応する機器のみを接続してください。

- ・ 他の機器を接続すると、本製品に不具合が発生する恐れがあります。

本製品の USB 電源ポートとパソコンの USB ポートを接続しないでください。

- ・ 機器が故障する恐れがあります。

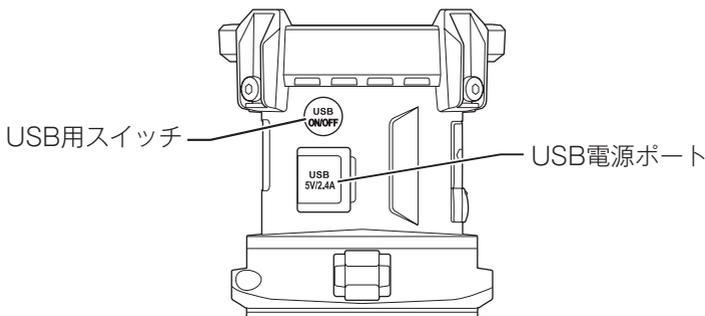
USB 機器を充電器に接続する前に、必ず USB 機器のデータをバックアップしてください。

- ・ データを損失する恐れがあります。

充電機能を使用しない場合や使用した後は、USB ケーブルを取りはずし、カバーを閉じてください。

一部の USB 機器は、本製品で充電できない可能性があります。

- ・ 本製品の USB 電源ポートから、お使いの USB 機器に充電することができます。



1. 本製品の USB 電源ポートのカバーを開き、市販の USB ケーブル (※) を USB 電源ポートに接続します。
※ USB ケーブルは付属していません。

使い方

2. USB ケーブルのもう一方の端を、充電したい機器に接続します。
3. USB 用スイッチ () を押します。
 - ・ 給電が開始され、USB 用スイッチ () が緑色に点灯します。
4. 充電が完了すると、USB 用スイッチ () が緑色で点滅します。
 - ・ USB 用スイッチ () を押すと、充電機能がオフになり、USB 用スイッチ () が消灯します。
 - ・ 充電完了後、USB 用スイッチ () を押さないまま 30 分が経過すると、充電機能がオフになり、USB 用スイッチ () は消灯します。
 - ・ 充電を途中でやめる場合は、USB 用スイッチ () を押します。USB 用スイッチ () が消灯します。

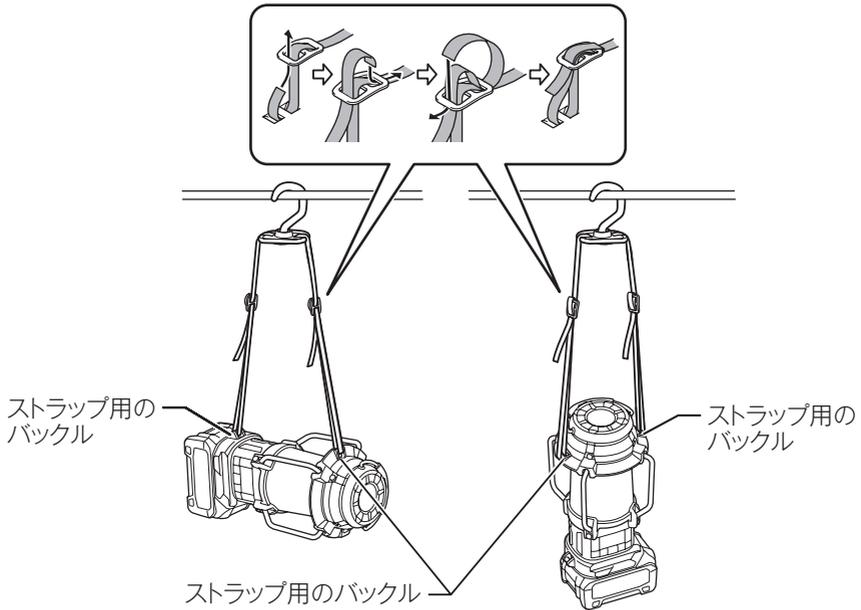
注

- ・ 本製品に取り付けたバッテリーの容量が少なくなると、USB 用スイッチ () が緑色で 1 分間点滅し、自動的に充電機能がオフになります。
- ・ 充電機能がオンで充電をしていない場合、USB 用スイッチ () が緑色に点滅し、30 分後に自動的に充電機能がオフになります。
- ・ 充電中に異常が発生した場合は、USB 用スイッチ () が緑色で高速点滅します。
- ・ USB 機器を充電すると AM ラジオ信号の受信状態が非常に悪くなるため、AM モードでは USB 機器への充電はできません。AM モードで USB 用スイッチ () を押して充電機能を有効にすると、ラジオは自動的に FM に切り替わります。
- ・ USB 充電中は、スピーカーの最大音量が低下します。

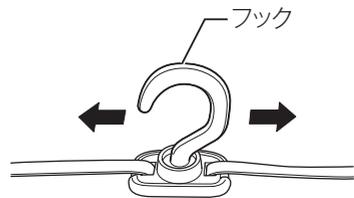
使い方

フック付ストラップを取り付ける

- 図のように、3か所のストラップ用のバックルを使用して、2通りの取り付け方ができます。用途に合わせてご使用ください。



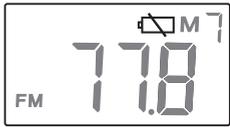
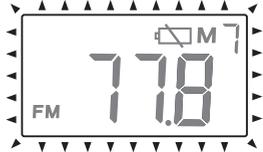
- 本フックの位置は移動することができます。
水平に吊り下げたい場合などは、フックの位置でバランスを調整してください。



保護機能

本製品およびバッテリーの保護機能

本製品を使用中、下記状態になりますが、これは保護機能によるものです。

保護機能	お知らせ表示
<ul style="list-style-type: none">本製品を使用中、バッテリーの容量が少なくなると、<ul style="list-style-type: none">① LCD 画面にバッテリー残容量表示 () が点灯し、② その後、LCD 画面のバックライトが点滅します。<ul style="list-style-type: none">本製品よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。ラジオの電源が入っていない場合でも、ライトの使用中にバッテリー残容量が少なくなると、上記①②の動作をします。	<p>①バッテリー残容量表示が点灯</p>  <p>②バックライトが点滅</p> 

- 上記以外の症状で停止した場合、「故障かな?と思ったら」(28 ページ参照)に従って点検してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状①

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本製品またはバッテリーが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 27 ページ参照。

- ・ 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリー、充電器を一緒にお持ちください。

症状②

- ラジオのボタン類を押しても反応しない。

原因

- ボタンロック機能がオンになっている可能性があります。
21 ページの「ボタンロック機能」を参照して、ロックを解除してください。

⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを本製品に差し込んだまま行くと、事故の原因になります。

本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布できれいに拭いてください。濡れた布は使用しないでください。

注

- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

MR008G-JP-2310
IWT

株式会社マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)